

山田和男名誉教授略歴

明治三十九年（一九〇六年）

一月二日 山田隆一次男として静岡市に生れる。

大正一二年（一九二三年）

三月 静岡県立静岡商業学校を卒業する。

大正一三年（一九二四年）

四月 東京外国語学校英語部貿易科に入学する。

昭和二年（一九二七年）

三月 東京外国語学校を卒業する。

四月 私立京北実業学校教諭に就任する（翌年三月まで）。

昭和三年（一九二八年）

四月 米沢高等工業学校講師を嘱託される。

九月 米沢高等工業学校助教授に任ぜられる。

昭和六年（一九三一年）

一〇月 渋谷コトと結婚する。

昭和一〇年 (一九三五年)

九月 米沢高等工業学校助教教授を依頼免官、東京商科大学予科講師を嘱託される。

一〇月 津田英学塾講師を嘱託される (一五年三月まで)。

昭和一三年 (一九三八年)

三月 東京商科大学附属商学専門部教授に任ぜられる。

昭和一六年 (一九四一年)

四月 中央大学法学部講師を嘱託される (四四年三月まで)。

昭和二三年 (一九四七年)

四月 東京外国語学校講師を嘱託される (二四年三月まで)。

昭和二四年 (一九四九年)

六月 一橋大学教授 (商学部) に任ぜられる。

昭和二五年 (一九五〇年)

四月 津田塾大学講師を嘱託される (三〇年三月まで)。

六月 外務省研修所講師を嘱託される (同年一二月まで)。

昭和三一年 (一九五六年)

九月 英語・米文学研究のためアメリカ合衆国に一橋ファンドによる出張を命ぜられ、ミシガン大学英語研究所研究員とな

(131) 山田和男名誉教授略歴

る（翌年三月まで）。

昭和三年（一九五七年）

七月 アメリカ各地を視察して帰国する。

昭和四年（一九六七年）

四月 早稲田大学政経学部講師を嘱託される（以後現在にいたる）。

昭和四年（一九六九年）

三月 停年により一橋大学教授を退職する。

四月 一橋大学名誉教授の称号を授与される。